

レフリー自主運営の実施について

H22. 6

オールドタイマー委員会 伊狩

すでにご案内の通り、東大和大会からレフリーは自主運営です。

1. これまでの委員会で、繰り返し申し合わされてきましたが、基本姿勢などについて再掲します。チーム内に徹底するようお願いいたします。

I 自主運営についての取り組み姿勢

- (1) 各参加者のスポーツマンシップ、フェアプレー精神の喚起。
- (2) 対戦チーム同士各試合毎にフェアプレーに徹することの再確認を行う。
- (3) レフリー、ラインズマン、当番チームは、それぞれフェアな試合運営が円滑に行われるよう最善の努力を行う。

II. 参加者のレフリーに対する基本姿勢

レフリーの判定は尊重する。(判定は、レフリーの判断によるもので、絶対的ともいえます。) 質問は、定められた方法で丁重に行い、それ以外では一切行わない。

2. 試合実施報告書

対戦チーム、当番チーム、レフリー、ラインズマンから、試合毎に、提出してもらうことにしていましたが、必要に応じて適宜、提出してもらうことにしました。形式的でなく、中身のある報告書が集まるのではないかと考えたものです。プラス評価の場合も提出していただくと思います。

試合中、試合後などの当日発言ではなく、報告書で行ってください。

提出先は当面委員長宛、提出方法は郵送、FAX、メールどれでも結構です。

試合実施報告書は添付ファイルです。

3. 当面の運用

この報告書の活用については、今大会での状況をみて適当な方法を考えたいと思います。ご提案も期待します。

参加選手は、レフリー自主運営の主旨を再認識し、「レフリーに依存しないフェアなプレー」(H21. 11 委員会資料) に心がけてください。

そして、今後のレフリー人材の拡充、養成プラン構築につなげていきたいと考えています。ついては、すでに登録レフリーになっている方は、オールドタイマーレフリーの育成、涵養の精神で臨んでいただくようお願いします。具体的養成プランもこれらの状況をみて検討していきますので、ご協力をお願いします。

人材豊富と高い評価を与えられているオールドタイマーの真価を問われているところです。みなさまのご努力をお願いします。

4. レフリーによる試合事後報告 (名称は不正確)

レフリー委員会で使用している様式を使用します。運用ルールなども準用します。追ってお送りします。

以 上